

I.入所者の健康と安全

◇日々安心の生活

目 標	担当部署	具体的対策
1)疾病予防		
① 感染症予防	イ) 予防対策の周知徹底 予防月間を設け諸対策決定	① イ. 具体的予防策
<集団感染ゼロ>	i) 防止月間: 食中毒=6月	i) a. 通年対策 1) 職員出勤時の手指消毒・うがい・検温 2) 利用者のトイレ使用後及び食前の手指消毒
	インフルエンザ・ノロウイルス=10月以降流行期	3) 足ふきマット(階段下、踊り場、汚物室入口)
		b. 流行期対策 1) マスク着用 2) 乾燥対策(カーテン湿潤) 3) 手すり消毒(毎日)
		4) 生ものチェック(キャビネ内) 5) 厨房の衛生管理(服装、食材等の点検)
	ii) 啓蒙活動(講習会、ポスター・標語)	ii) a. 医師による講習会及びポスター・標語作成(6月、10月) b. 担当者の外部専門研修
	iii) マニュアル研修	iii) 感染症予防マニュアルの再学習(施設内研修)
② 褥瘡ゼロ	発赤などの早期発見・処置、体位変換などの取組	② イ. こまめな体位変換(夜間2時間おき) ロ. 予防マット使用 ハ. 早期発見・早期処置
③ 異常の早期発見 と早期治療	i) こまめな視診で異常の早期発見・早期治療 看護・介護・機能訓練等関係部門の連携	③ i) 早期発見 1) 廊下は居室側を歩き、室内視診の癖をつける。2) 視診(顔色、呼吸の確認) 3) 離床時に必ず健康確認 4) 見守りの原則(顔が見える位置で) 5) 車椅子上の傾眠防止(声掛け)、覚醒しない場合はベッド臥床
		ii) 部門間連携 1) 体調不良者の対応(医務室の指示を全職員に徹底) 2) 急変時の対応能力アップ(年2回の研修及び酸素ボンベ取扱方法の研修)
④ 口腔内の清潔 保持	咀嚼、嚥下、発語機能の確保	④ i) 定期的口腔内診療 ii) 咀嚼、嚥下、発語訓練の実施 iii) 歯牙、義歯の補綴
2) 事故防止		
① 重大事故防止	イ) 事故原因の究明と対策立案	① イ) i) 巡回・見守り強化による「転倒・転落」事故を予防 b. おむつ交換、体位交換作業の上達で事故予防
<特養・老健ゼロ以下>		ii) 事故防止に向けた気づきの訓練、介護技術研修の実施(施設内研修及び外部講師による指導)
	ロ) 細心の注意を払って誤嚥・誤薬事故ゼロ	ロ) 毎食前の嚥下体操の実施により誤嚥のリスクを減らす。
② 一般事故半減	イ) 事故事例研究で危険予知(気づき)の力を高める。 ロ) 介助技術向上により介助時の事故(主として皮膚剥離、内出血)を減少させる。	② イ)・ロ) ケアス・スタッフミーティングで情報の共有、施設内研修で事例研究
3) 虐待ゼロ		
① 言葉による虐待、	入所者は言葉一つで、不安にもなる。また、ネグレクトも同じ。	(虐待防止委) 暴力による虐待は厳禁。言葉の暴力、ネグレクトをしないで優しい、丁寧な言葉遣いを実行

ネグレクト防止			
4)食事改善		給食(栄養士、調理員)	
①咀嚼・嚥下対応		(給食班)	① イ.咀嚼・嚥下レベルに応じた食事形態(切り方、硬さ調整、ミキサー食のトロミ具合など)
②異物混入防止			② イ.服装のチェック(自己及び相互チェック) ロ.下処理時の包装材除去と盛り付け時のチェック ハ.機械器具の劣化による破損などをこまめに点検
5)機能訓練の質・量アップ	特養	イ.1日当り訓練人数60名 ロ.ベッドサイドの可動域訓練充実 ハ.最適なポジショニング、車椅子姿勢の研修 ニ.職員の移乗動作研修	
	老健	イ.短期集中リハビリの向上(6名/月以上) ロ.生活リハビリ訓練(入浴中の可動域訓練等)促進 ハ.集団リクリエーション、グループワークの充実(新内容の取入れ) ロ.生活リハビリ訓練(トイレでの排泄動作訓練と職員に対する介助方法の指導)	
	デイ	利用者個人別の最適リハビリの実施:体力測定(3ヶ月毎)⇒改善メニュー作成⇒訓練実施⇒訓練結果を本人・家族に通知	

II.健全財政の確立 (介護報酬ダウンへの対応)◇入りを図りて、出るを制す

1)収入増の取組			
① 稼働率Up	イ)特養(含むショート):稼働率102%	事務室(相談員)	日常の健康管理を徹底して入院者を減らす。
	ロ)デイ:登録者数50名、稼働率85%	デイ	居宅支援事業所等への営業強化。
② 特別加算	加算の取りこぼさないか常に点検	事務室(相談員)	
2)諸経費節減			
① 無駄の排除(残食量低減、節電・節水、消耗品節約など)で極力圧縮する。		全職員	職員相互に小さな無駄を掘り起し、全員で節約

III.人材の確保と育成 ◇介護は人なり

1)介護職員採用・育成			
① 非介護系新卒の採用と育成	イ)採用活動のシステム化<学校訪問、パイプ作り> ロ)研修システム(25年度作成)の定着	事務室 介護	高校:信太、伯方、他に近隣高校を開拓 短大・専門:健康福祉短大、南海福祉専門、大阪社会福祉専門 3ヶ月間は教育担当者をつけて教育(介護実践と一緒にやる形の教育)
② 中途採用	イ)広告媒体中心のタイムリーな採用活動 ロ)退職者の再採用、職員の友人知人へのアプローチ	全職員	採用活動にあたっては他法人の待遇等調査の事(特に契約職員の時給単価)
2)看護職員の採用		事務室	
3)介護職員の能力開発		事務室、介護	
① キャリア段位制	遺徳会版の段位制制定 通称「CL制度」という	7セッター・介護主任	昨年度に制度を発足させ、評価作業を進めており、本年6月にレベル1～5の格付け決定押す。
② マニュアル再教育	事故防止の観点からマニュアル見直し点検	介護 デイ	事故の原因となっている作業のピックアップ、その作業マニュアル見直し・改正⇒研修
4)仕事・育児両立支援	復職時の短時間勤務(育児短時間従事者5名、復職1名予定)	介護・事務室	短時間勤務者の有効活用

IV.快適な生活環境の提供

◇笑顔がこぼれる生活支援

1)利用者の整容		整容活動実施のシステム化
① 整容活動実施のシステム化	介護	イ.入浴後爪切り・入浴日髭剃りのシステム化 ロ.入浴日着洗濯及び入浴中止日の着衣交換のシステム化 ハ.毎朝離床時の着衣交換は利用者の好みにも配慮する。
2)居室・トイレの清潔維持		
① 居室内(含むキャビネット、ベッド等)の換気・清掃・整理・整頓	介護	① イ.離床時の布団三つ折り ロ.臥床時の車椅子停止位置確定 ハ.週1回のベッド廻り清掃と床消毒 ニ.掃除機は毎日かける。ホ.換気の定期化(朝・夕のおむつ交換時、夜勤の配茶時)
② トイレ(含むポータブルトイレ)清掃の徹底で悪臭を追放	介護	② トイレ介助終了後の介助者定例作業 イ.消臭剤散布 ロ.消毒液で便座・ペーパーホルダー・床を消毒 ハ.換気扇は常時ON
③ 多勢の人が触れる手すり等の清潔	介護	③ ハイター等で拭く。
3)親切的な対応		
① 安心感を与える	全職員	① 忙しい時も、常にニコニコ笑顔で親切的な対応 ② ニックネームで呼ばずに〇〇様、・・・さんと声をかける。
4)美味しく安全な食事提供	給食(栄養士、調理員)	残食量分析結果と嗜好調査結果を献立に反映させる。

V.娯楽の提供

1)楽しい行事	介護、事務室	外食・買い物ツアー、焼き芋デーなど利用者に喜ばれる行事の実施
2)ボランティア団体による慰問行事を充実させる。	事務室他	
② デイサービスは娯楽性に富むプログラムの考案、実施	デイ	

添付資料

- 資料1 委員会の目標
- 資料2 クラブの目標
- 資料3 班の目標
- 資料4 年間行事計画
- 資料5 施設内研修

特 養	事故防止委員会	老 健
<p>1、重大事故ゼロを目指す</p> <p>①気づきを高める為にひやりハットの活用</p> <p>②事故発生時はミーティングや終礼で最低三日間の報告し、周知徹底を図る。 また、SS内の掲示板に掲示する</p> <p>③毎月ケアスタッフ会議にて事故報告を行い、事例検討として一件スタッフ間で意見を出し合い事故の検討をし意識向上を図る</p>		<p>事故を無くす</p> <p>事故は発生時には、職員が関心を持つように取り組む</p> <p>①見守り巡回時の気づきを高め、リスクマネジメントに繋げる</p> <p>②情報の共有を図る</p> <p>③居室内の整理整頓に勤め、歩行者の安全を図る</p>
特 養	感染症・食中毒委員会	老 健
<p>1、清潔に努める</p> <p>①週1回のベット周りの掃除、床消毒の徹底</p> <p>②食中毒予防の為に、キャビネ内の点検、清掃</p> <p>③車イスの点検・清掃</p> <p>2、感染症・食中毒の予防</p> <p>①出勤時の手洗い、うがいの徹底</p> <p>②職員健康管理の徹底(毎朝の検温)</p> <p>③カンファ水の点検、毎月月初めにはカンファ水の入れ替えを行う</p> <p>3、委員会活動</p> <p>①感染症発生時期の、職員に対して研修と毎朝のミーティングで注意喚起を行う</p>		<p>1、清潔な生活環境の提供</p> <p>①清掃、換気、冬場の湿度管理の徹底</p> <p>②キャビネ内の点検、消毒</p> <p>③手すり等利用者の手の届く場所の消毒</p> <p>2、日常の取り組みについて</p> <p>①職員出勤時の検温、体調変化に早期対応</p> <p>②職員のうがい、手洗いの徹底</p> <p>③健康診断年二回、予防接種(インフルエンザ)</p> <p>3、集団発生ゼロを目指す</p> <p>①発生時期前にはポスターにて意識を高める</p>
特 養	褥瘡防止委員会	老 健
<p>褥瘡を作らない</p> <p>①毎日の排泄介助や、入浴介助時の全身状況の確認を行い、骨の突起や拘縮、出来やすい部分を個別に理解する</p> <p>②定期的に、研修を行う。</p> <p>③皮めくれ、発赤等の早期発見と早期対応</p> <p>④委員会にて利用者の状況の管理を行う</p>		<p>①体位交換の適切な方法の徹底</p> <p>②早期発見で早期治療にとりくむ</p> <p>③勉強会の開催</p>
特 養	虐待防止委員会	老 健
<p>虐待についての意識を高め、利用者が安心して生活できる場所の提供</p> <p>①職員研修を行い、虐待、身体拘束に対する意識向上に努める</p> <p>②職員間で言葉遣いや態度、忙しい時間のフォローを意識し注意しあう</p>		<p>虐待防止への意識向上</p> <p>①職員研修の定例化</p> <p>②委員会開催毎月1回</p>

29年度 クラブの目標

特 養		老 健
同じ利用者だけでなく違う方にも歌って頂けるように歌手の幅を広げる	カラオケ	手拍子や、一緒に口ずさむ等皆様に声をかけ、唄っていないときでも楽しんで頂けるように取り組む
	フラワー	今まで不参加の方にも声かけをおこない、出来ない方にも職員と一緒に援助し参加を楽しんで頂く
出来ない方には見学の声をかけ、お花を見て美しいという感情を持っていただくよう援助する(六月から八月までは花のもちがわるいため休止)	お花	
お茶の時、コーヒーの時に合わせて音楽を変え、喫茶店に来たような雰囲気が出るようにし、落ち着いた雰囲気でお茶を楽しんで頂く	お茶会	楽しい雰囲気が提供し、多くの方にロビーで召し上がって頂くようにする
	手芸	参加される方が少なくなってきたが、作る楽しみを長く味わって頂くようにする
自分で作る喜びを味わい、おしゃべりしながら楽しい雰囲気ですり上げて頂く	おやつ	違う方にも参加して頂ける様に声掛けし、出来ないときは援助を行なう
	ほのぼの	おやつを食べながらおしゃべりをし楽しい時間を過ごして頂けるように援助するまた、ジュータンにすわり少しでも足を伸ばしていただく時間を作る
季節に合った歌を歌っていただき季節感を味わって頂く。	リズム 合奏	楽器を使い音楽に合わせて演奏をしたのしんでいただく
季節ごとのちぎりえに取り組んでいただき、作品として作品展に向けて力をあわせて取り組んでいただく	工作	作品のバリエーションを増やす
季節感のある文字を書き、掲示板に掲示し、皆様にも見て頂き次の作品の励みになる様にする	習字	参加者を増やす為に見学者をふやし、進めて行く
歌や、ゲーム等皆様が参加しやすい内容を取り入れる	総レク	
ホワイトボードを使用し、ことわざや、計算、言葉遊びなど取り入れ参加して頂ける方を増やす。	脳トレ	

29年度 班の目標

特 養	班名	老 健
<ul style="list-style-type: none"> ○利用者に訴えられる前に行動し、要望には可能な限りすぐに対応する ○利用者様との信頼関係構築のために少しの時間でも対話をする ○離床時には整容に取り組み、清潔に過ごしていただく 	サービス 向上班	<ul style="list-style-type: none"> ○月間目標を掲げて、職員の意識向上を図り、サービスの向上を目指す。 ○利用者様や、職員間でも言葉使いに気をきをつけ、不愉快にならない様な対応ができるように、職員間での注意し合える環境を作る
<ul style="list-style-type: none"> ○利用者様の排泄状況の把握を行い、定期的に尿とりパットがあっているかの確認と会議を行う ○皮膚の良好な状態保持に努める 	排泄班	<ul style="list-style-type: none"> ○プライバシーの保護の徹底 ○個々に適したパット、当て方等の検討をし、実践する。 ○褥瘡を作らないように、清潔に努める
<ul style="list-style-type: none"> ○在庫は少なく、また品切れにならない様に在庫確認をこまめに行う ○倉庫内の生理整頓に努め、使用後は元の場所に戻すよう徹底する 	物品班	<ul style="list-style-type: none"> ○消耗品の無駄を省き、備品物品を大切に扱う ○パットや洗剤などの品切れのない様に在庫チェックをこまめにおこなう
<ul style="list-style-type: none"> ○個々にあった食事形態の提供。 誤嚥を予防する為に、利用者個々にあった食事形態や食事援助方法を職員間で統一する ○落ち着いた食事ができる様に、食事場所を考え、音楽を流し雰囲気作りをする 	給食班	<ul style="list-style-type: none"> ○食事のペース、形態が同じ利用者のグループ化をする ○誤嚥を予防する為に食事前に嚥下体操を取り入れる ○下膳は、食事中の方に配慮し行う

29年度 行事計画

月	特別な食事会		月	特別な食事会	
4月	花見(開花状況により開始) アリオ外出	お花見弁当 誕生食事会	10月	遠足 ◆だんじり アリオ外出	誕生食事会
5月	しょうぶ湯 ◆歌謡野々宮一座 アリオ外出	端午の節句食事会 誕生食事会	11月	家族こんだん会 アリオ外出	誕生食事会
6月	ゆり園遠足 アリオ外出 ◆マンドリン&ギター ◆グループまどか	誕生食事会	12月	餅つき クリスマス食事会 ゆず湯 ◇グループまどか ◆園児と交流 アリオ外出	クリスマス食事会 誕生食事会
7月	家族こんだん会 アリオ外出 ◆フラダンス	七夕食事会 誕生食事会	1月	初詣 アリオ外出 ◆フラダンス ◆歌謡野々宮一座	御節料理(元旦) 誕生食事会
8月	盆踊り ◆ハーモニカ演奏 アリオ外出	誕生食事会	2月	節分豆まき ◆園児と交流 アリオ外出	誕生食事会
9月	作品展 アリオ外出 敬老祭 ◆日本舞踊 ◇園児との交流	敬老食事会 誕生食事会	3月	ひな祭り食事会 物故者法要 アリオ外出	誕生食事会

註) ◆印は慰問等

慰問以外:車椅子誘導(毎月、市老連婦人部会)、義歯洗浄(2ヶ月に1回、エイフボランティア)、

傾聴(年10回、西光寺仏教婦人会)

29年度 施設内研修計画

月	テーマと実績	講師
4	テーマ 法令遵守、人権擁護、個人情報保護 実績 4月 日() 時 分～ 時 分 出席者 名	所長
5	テーマ 緊急時の対応① 実績 5月 日() 時 分～ 時 分 出席者 名	西田医師
6	テーマ 食中毒・脱水症状・栄養 実績 6月 日() 時 分～ 時 分 出席者 名	栄養士
7	テーマ 事故防止(転倒・転落について) 実績 7月 日() 時 分～ 時 分 出席者 名	事故防止委員
8	テーマ 虐待防止① 実績 8月 日() 時 分～ 時 分 出席者 名	虐待防止委員
9	テーマ 褥瘡予防 実績 9月 日() 時 分～ 時 分 出席者 名	褥瘡防止委員
10	テーマ 緊急時の対応② 実績 10月 日() 時 分～ 時 分 出席者 名	看護師
11	テーマ 感染症(ノロ・インフルエンザ) 実績 11月 日() 時 分～ 時 分 出席者 名	感染症委員
12	テーマ 虐待防止② 実績 12月 日() 時 分～ 時 分 出席者 名	虐待防止委員
1	テーマ 事故防止(高齢者リスクマネジメント) 実績 1月 日() 時 分～ 時 分 出席者 名	事故防止委員
2	テーマ 移乗・体位交換・ポジショニング 実績 2月 日() 時 分～ 時 分 出席者 名	機能訓練士
3	テーマ 認知症利用者への対応、口腔ケアについて 実績 3月 日() 時 分～ 時 分 出席者 名	認知症委員